

科目名	道徳指導法		科目コード	5012	
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	小山久子				
授業の目的及びテーマ					
<p>「特別の教科 道徳」は道徳教育の補充・深化・統合の場であり、全体計画・指導計画に則り展開されていることを知る。即ち、35分の1の授業は、学校教育活動全体と関わって実施されるべきものであるというカリキュラムマネジメントの視点を知らる。その上で、「考え議論する」道徳の授業とはどのようなものかを実践的に試行し、指導力を身に付ける。</p>					
授業概要					
<p>「道徳の理論と指導法」及び「中学校学習指導要領解説 道徳編」を活用して「特別の教科 道徳」のあり方について理論的に検討する。併行して、それに則った授業のあり方について、教材研究を通して学び取る。また、いじめ問題・国際理解・環境問題等、現代的な課題を踏まえ、指導案を作成することによって、実践的な指導力を身に付ける。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：道徳教育の諸問題を明らかにし、道徳教育の可能性や課題について考える。</p> <p>第 2 回：道徳教育で育成すべき道徳性とは何かについて考える。</p> <p>第 3 回：生きる力と道徳性との関わり、道徳教育・道徳科の目標と指導内容について考える。</p> <p>第 4 回：道徳性発達のメカニズムを心理学の見地から理解し、その発達を支援する具体的な教育方法について学修する。</p> <p>第 5 回：コールバーグの道徳性発達理論によるモラル・ジレンマの授業展開等を知ることによって、「考え議論する道徳」について検討する。</p> <p>第 6 回：「考え議論する道徳」に至る戦前戦後の道徳教育の経緯を遡る。</p> <p>第 7 回：各国の道徳教育と比較することによって、日本の道徳教育の特徴を知る。</p> <p>第 8 回：機能する「道徳教育の全体計画」「年間指導計画」は、どうあるべきか、どう改善・充実を図るかについて検討する。</p> <p>第 9 回：「特別の教科 道徳」（道徳科）のめざす「考え議論する道徳」とは何か、「主体的・対話的で深い学び」「問題解決的な学習」「体験的な学習」等の位置付けを明確にすることによって、検討する。</p> <p>第 10 回：子どもの道徳性の発達段階や実態を踏まえた主題・ねらいの設定、展開の流れについて知る。</p> <p>第 11 回：学習指導過程における教材や発問の吟味や工夫による道徳科学習指導案の作成について検討する。</p> <p>第 12 回：道徳科における問題解決的な学習とは何か、問題解決的な学習を生かした学習指導過程について検討する。</p> <p>第 13 回：道徳科における体験的な学習とは何かについて、具体的に検討する。</p> <p>第 14 回：道徳科の多様な授業展開例について知る。また、授業展開を考える中で子どもの道徳性の変容をどのように評価するのかについて考える。</p> <p>第 15 回：子どもが主体的に道徳性を高め、深めることを支援する教師に求められる道徳的指導力とはどうあるべきなのかについて考える。</p>					
テキスト	『道徳の理論と指導法「考え議論する道徳」でよりよく生きる力を育む』 柳沼良太（図書文化） 中学校学習指導要領解説 道徳編 （文部科学省）		参考文献		
評価方法：					
課題提出2課題及び最終課題提出					